

大腸がん

今回は、大腸がんを取り上げる。一覧表には、2025年の全手術件数、ロボット支援手術が占める割合、内視鏡治療の実績などを載せた。

治療の基本は、がんの部位と転移の可能性がある周辺のリンパ節を切る根治手術だ。切った後に残りの腸をつなぎ合わせ、便が通るようにする。がんが肛門近くにあり、機能を残せなかった場合、人工肛門（ストーマ）を造る。

手術は大きく分けて、おなかを切る開腹手術と、おなかに数か所の穴を開けて器具を入れる腹腔鏡手術、専用アームに器具を取り付けて操作するロボット支援手術の3種類ある。

ロボット支援手術は、医師が拡大された立体画像を見ながら行う。手ぶれがなく、人間の手より可動域も広がるなどの利点があり、近年急速に広まっている。ロボット支援手術プロクターは、技量や手術実績に基づく学会認定の指導医。在籍数(26年4月現在)の多さは、技術面や安全性など実施体制の充実度をはかる手がかりになる。

粘膜の浅い部分にとどまる早期のがんの場合は、「内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)」といった内視鏡治療の対象となる。肛門から器具を入れるので、おなかに穴を開けずに済み、体への負担が少ない。一方、転移が進み、手術できない状態になると、薬物療法が中心になる。

早期発見のため、40歳以上の人は、年1回は便に血が混じっていないかを調べる「便潜血検査」を受けることが推奨されている。

医療機関名	全手術 (件)	ロボット支援手術 割合 (%)	ロボット支援手術 プロクター (人)	内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD) (件)
茨城				
土浦協同	176	24	3	53
県立中央	173	38	2	33
水戸赤十字	119	27	1	0
友愛記念	97	12	0	1
水戸済生会総合	78	24	0	7
筑波学園	38	0	0	21
つくばセントラル	36	0	0	0
牛久愛和総合	25	0	0	0
千葉				
国立がん研究センター東	397	14	1	109
君津中央	225	32	0	45
日本医大千葉北総	222	24	2	89
国保旭中央	209	33	1	75
県がんセンター	164	73	1	101
新東京	159	38	2	45
順天堂大浦安	152	41	0	40
辻仲柏の葉	147	0	0	34
千葉大	145	65	2	123
亀田総合	141	24	2	104
千葉西総合	136	54	2	51
千葉労災	133	32	1	30
新松戸中央総合	130	36	1	22
慈恵医大柏	122	32	1	44
国際医療福祉大成田	119	55	2	23
船橋市立医療センター	118	44	1	15
成田赤十字	118	4	0	36
東邦大佐倉	96	34	2	12
松戸市立総合医療センター	83	53	1	16
東京女子医大八千代医療センター	81	54	1	—
聖隷佐倉市民	65	0	0	1
おおたかの森	54	0	0	10
千葉中央メディカルセンター	37	0	0	5
栃木				
自治医大	279	30	2	46
独協医大	181	56	4	59
済生会宇都宮	157	40	1	29
国際医療福祉大那須医療センター	138	33	1	23
県立がんセンター	108	75	2	29
那須赤十字	94	7	0	5
とちぎメディカルセンターしもつが	82	0	0	7
佐野厚生総合	67	3	0	26
宇都宮記念	60	0	1	16
JCHOうつのみや	41	0	1	9

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター。「—」は無回答または不明